

令和8年度 熊本大学個別学力検査（後期日程）【化学】 出題の意図

大問1

化学反応や物質の状態変化におけるエネルギーの出入りや構成粒子の挙動について、基本的な知識を問いました。具体的な反応として水酸化ナトリウムの水への溶解反応を例にとり、エンタルピー変化の計算能力や溶解平衡の現象の説明能力を問いました。また、気体の体積、圧力、温度の関係についての基礎的な知識を前提として、理想気体と実在気体の挙動の違いについて問いました。

大問2

各種の錯イオンや錯塩を題材として、無機化合物の構造や反応、合成に関する基本的な知識を問いました。さらに、配位結合に関する基礎的な知識を前提として、与えられた複数の実験情報を基に、錯イオンや錯塩の構造式や立体化学を推定する発展的な理解度を問いました。

大問3

アルケンなどの不飽和炭化水素化合物を題材として、有機化合物の構造や反応に関する基本的な知識を問いました。特に、与えられた複数の実験操作やその結果を基に、正しい構造を合理的に推定する能力を問いました。